



高山市長 **明 芳 島 國**

## 新年の抱負「厚徳載物」

中国の易経の格言。大地が万物を支えているように、徳を積み重ね度量のある人(市政)になりたい。

結びに、迎えた本年が市民の皆さまにとって、笑顔にあふれ実り多き素晴らしい一年となりますことを心より祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

加えて、世界水準のナショナルパークを目指した「松本高山Big Bridge (ビッグ・ブリッジ)構想」実現プロジェクトが動き出しています。中部山岳国立公園を挟んで、高山市と松本市をより魅力あるものとしてつなぐとともに、脱炭素と自然エネルギーの活用を意識した環境づくりを進めてまいります。

さらに、急速に進展しているデジタル化に対応するため、市民生活全般にわたるDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進していくことが喫緊の課題となっていますので、市役所のみならず事業者の皆さまの英知を集し、未来に続く生活基盤を構築してまいります。

また、人口減少、少子高齢化への対策とともに、SDGs(エス・ディ・ジーズ)「持続可能な開発目標」に向けた取り組みを進めることとしています。誰一人取り残さないという原則のもと、次代を担う子ども達が夢と誇りを持って「持続可能な高山市」を目指し、着実に実践してまいります。

本年、市では新型コロナウイルス感染症への対策はもとより、ウイズコロナ社会における適応戦略の着実な推進と、ポストコロナ社会を前提とした長期的な視点による成長戦略に引き続き取り組んでまいります。

この二年間は、新型コロナウイルス感染症で全世界が様々な困難に直面してまいりました。社会情勢、財政状況など大変厳しいものでした。その一方でAI(人工知能)やICT(情報通信技術)などが急速に進み、ニューノーマルの時代を迎えようとしています。私たちはこの困難な時期に、知恵と工夫を出し合い、力を合わせて成長するチャンスだと前向きに捉えることができたとはいえ、新型コロナウイルス感染症が及ぼした困難から脱却し、新しい日常の中に暮らしの豊かさや経済の成長を見出し、力を合わせこの二年間停滞していた地域の活性化を取り戻してまいります。

# 「壬寅」新たな成長に向かって

みずのえとら

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、健やかに新年を迎えることと心よりお慶び申し上げます。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症は、昨年更に猛威を振るい爆発的に全国へ広がりました。会いたい人にも会えない日が続きまして、今年の風景はいつもの年以上に輝いて見えます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、基本的な感染対策は日常となり、リモートワークなど新しい試みにも慣れてまいりました。人流の抑制や経済活動の停滞など、先の見えない日が続きましたが、皆さまの感染防止対策の徹底や、希望される方へのワクチン接種の実施などにより、昨年十一月

から感染は落ち着き、ようやく光が見えてきたように感じております。市内にも観光客の姿が多くみられるようになり、教育旅行などの団体バスも増えてきており、賑わいが戻りつつあります。ここに至るまでの間、私たちの健康と命を守るため、医療現場等で従事された関係者の方々に對し改めてお礼を申し上げます。

しかしながら、新たな変異株が発生するなど、まだまだ気を緩めることはできない状況であります。皆さまには基本的な感染防止対策の徹底を引き続きお願いいたします。

さて、今年の干支は「寅」です。寅年の中でも「壬寅」で、その意味は厳しい冬を越え、草木が芽吹き始め、新しい成長が始まることだと言われています。

す。

この二年間は、新型コロナウイルス感染症で全世界が様々な困難に直面してまいりました。社会情勢、財政状況など大変厳しいものでした。その一方でAI(人工知能)やICT(情報通信技術)などが急速に進み、ニューノーマルの時代を迎えようとしています。私たちはこの困難な時期に、知恵と工夫を出し合い、力を合わせて成長するチャンスだと前向きに捉えることができたとはいえ、新型コロナウイルス感染症が及ぼした困難から脱却し、新しい日常の中に暮らしの豊かさや経済の成長を見出し、力を合わせこの二年間停滞していた地域の活性化を取り戻してまいります。